

## ディボーション質問表



今週の箇所は、エホヤキム王の時代にエレミヤによってなされた託宣（7：1～20：18）の一部です。

### 3日（月）エレミヤ書 17：1～13 心の邪悪さ、安息日1

1. ユダの罪が1～4節で書かれています。どのような事が言われているのでしょうか？ 全体としては、ユダの罪の根深さが描かれています。この箇所から自分への警告として何か思い当たる事はないでしょうか？
2. 罪を犯しているユダに対して、神さまはどのようなアドバイスをしていますか（5～11節）？ 自分が聞くべき、言葉は何かあるのでしょうか？ 13節のように自分の利得だけを考えて麻痺していたり、自分の心に偽っていたりするようなことはないでしょうか？

### 4日（火）エレミヤ書 17：14～27 心の邪悪さ、安息日2

1. 14～18節はエレミヤの祈りです。彼はここで誰のために何を祈っているのでしょうか？
2. 19～27節でエレミヤはユダの人々に対して主からの言葉を語っています。その内容は安息日についてです。安息日の教えはユダヤ人に対するものであり、今も土曜日です。しかし、この箇所から適用として私たちは何を学ぶ事が出来ると思いますか？

### 5日（水）エレミヤ書 18：1～17 陶器師の手の中にある粘土

1. 主はエレミヤにどこに行くように語っていますか（1～4節）？ そこで主はエレミヤに「イスラエルの家」に対してどのようなメッセージを与えていますか（5～10節）？
2. 主が11～17節で「ユダの人とエルサレムの住民」に対して語るように言われているメッセージは何でしょうか？

### 6日（木）エレミヤ書 18：18～23 エレミヤに対する計画

1. ユダの人々はエレミヤに対してどんな計画を立てているのでしょうか？ その理由は何でしょうか？
2. エレミヤの祈りが19～23節に書かれています。彼は何を願っていますか？ その動機は何だったと思いますか？

### 7日（金）エレミヤ書 19：1～15 砕かれたびん

1. 「ベン・ヒノム」はエルサレム南西の谷、別名ゲヘナ。「トフェテ」はベン・ヒノムの谷の中の、どこか小高い場所と思われる。もう既に焼き終わってしまった陶器が使えなければどのような運命をたどるでしょうか。もはやユダ王国はそこまで腐敗していました。その腐敗の印は何でしょう。現代にその兆候は見られるでしょうか？
2. この箇所から罪を土台とした文明の自己崩壊の例を見てみましょう。そこで裁きを宣告しなければならなかったエレミヤの葛藤と信仰はどのようなだったと思いますか？

### 8日（土）エレミヤ書 20：1～18 エレミヤに対する迫害

1. エレミヤを通して主はバビロン帝国の襲来を告げます。当時の指導者バシュフルは「恐れを被る」象徴として記録されました。このことから指導者の陥りやすい罪について考えてみてください。
2. 7節以降のエレミヤの祈りから、預言者のどんな心が読み取れますか？ あなたが共感できる部分と、想像もつかない部分を挙げてみましょう。この祈りを通してわかるエレミヤと神との関係はどんなものでしょう。私たちの模範とするべき点は何かでしょうか？